

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105743
法人名	有限会社 媛のくに
事業所名	グループホーム 媛のくに
所在地	愛媛県松山市枝松3丁目1-23
自己評価作成日	平成22年1月3日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年1月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

近隣には、スーパー、食べ物屋さんなど歩いて行ける所も多い為、積極的に地域に出かけ地域に溶け込めるようにしている。
また、トイレでの排泄を基本とし、日中は紙パンツ等使用せずトイレ誘導行っている。
公文学習療法を取り入れ、積極的に認知症にもアプローチしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

お部屋にポットがあり、お部屋でコーヒーを飲まれる方もある。ご家族の写真やご本人の花嫁姿の写真を飾っておられたり、好きな歌手のポスターを貼って、CDを聴かれる方もある。
近隣に住む大家さんの協力もいただきながら、地域との交流に取り組まれている。昨夏の夏祭りは、地域の子供会に呼びかけ、昨年より規模を縮小したアットホームな雰囲気、利用者が楽しめるようにされ、利用者と子どもたちがじゃんけんをして、利用者から景品をプレゼントするような企画もあり、子ども達とのふれあいに利用者の笑顔も多く見られたようだ。
管理者は、職員の意見を聞きながら取り組みをすすめておられる。「買物等に出かけたい」と言われる利用者の声を受けて、職員は「午前と午後に分けて食材の買い出しに行けば、利用者が外に出る機会が増えるのではないかと提案され、実践されている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 媛のくに

(ユニット名) 1F

記入者(管理者)

氏名 毛利 玲子

評価完了日

平成22年 1月 3日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 家庭的な環境、地域との交流の下、その人らしく当たり前の生活ができるよう支援していく理念を掲げ、入り口に掲示したり、日誌にも印刷しいつも目に触れることで、理念を常に意識し共有できるようにしている。	
			(外部評価) 事業所では「地域の中で、その人らしく、当たり前の、普通の生活が送れるよう、お手伝いします。」と理念に掲げて取り組んでおられ「利用者とどんどん地域に出かけていきたい」と話しておられた。又「笑顔や笑い声の絶えない、居心地の良い家庭づくり」を目指しておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の方に運営推進会議に参加していただいたり、地域の行事に参加させていただいたり交流している。また近隣の方にお花や野菜などいただいたり、年数を重ねるごとに地域との交流も増えている。	
			(外部評価) 近隣に住む大家さんの協力もいただきながら、地域との交流に取り組まれている。昨夏の夏祭りは、地域の子供会に呼びかけ、昨年より規模を縮小したアットホームな雰囲気、利用者が楽しめるようにされ、利用者と子どもたちがじゃんけんをして、利用者から景品をプレゼントするような企画もあり、子ども達とのふれあいに利用者の笑顔も多く見られたようだ。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議の際に活動報告したり、ホームの夏祭りに参加していただいた際にご利用者と職員との関わりを見ていただいている。今後、近隣の方対象の認知症講座なども開催できればと思っている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 概ね2ヶ月に一回開催し、ホームの活動報告、外部評価の結果報告等し、意見や質問、助言をいただきケアの質の向上に努めている。</p> <p>(外部評価) 会議では、事業所の活動報告や利用者の状況、研修の報告等をされ、その後「座談会形式」で意見交換を行っておられる。地域の他グループホームとは、会議に出席し合っておられ、事業所のサービスについてのアイデア等もいただいている。ご近所の方等からは、畑やお花の栽培をすすめていただき、取り組みをすすめることになっていた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議に参加していただいた際、事業所の状況を報告したり、取組みについて伝えている。また市主催の研修会にも積極的に参加している。運営上の疑問、問題等あればその都度質問、相談している。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議に出席いただき事業所の取組みを知ってもらっている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ミーティングや日々の申し送り等でケアを振り返り、点検している。職員間で声掛け合い連携を図って夜間以外は施錠しないよう徹底している。</p> <p>(外部評価) 管理者は、職員の気になる言葉や対応がみられた際にはその都度、身体拘束をしないケアの大切さを伝えておられる。ベッドからずり落ちるような方には、ご家族と相談して、ベッドの足もとにマットを敷いて対応をされたり、又、這ってご自分の意思で動かれる方もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 管理者は高齢者虐待の研修会に積極的に参加し理解を深めている。また、関連施設での高齢者虐待の研修会に参加させていただき、不適切ケアについての認識を深めることにより、高齢者虐待防止の意識付けを行っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 対象となるご利用者がいる場合にスムーズに支援できるよう、研修会などに参加し理解を深めるよう努めている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約前には自宅を訪問したり、ホームを見学していただいたり、関係作りを心がけている。また契約時には、利用料、起こりうるリスク、重度化や看取り、医療連携の実情についての説明を行い、理解、納得を図っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議時に参加して頂いた方に意見や思いを伝えられる機会を設けている。ご家族様には、ケアプラン変更時に文書にて意見を求めたり、ご家族様面会時には何でも言ってもらえるような雰囲気作りをし常に問いかけている。ご利用者に関しては、日々の表情で察知したり、そっにご家族様に打ち明ける本音を伺う事により思いをくみ取る努力をしている。 (外部評価) ご家族が来られた際には、居室でご本人とゆっくり過ごされる方もある。クリスマスにはご家族の方がケーキを焼いて来て下さったり、ご家族がパソコンで作ってくださった利用者の写真入りカレンダーをユニットの入り口や各居室にかけておられた。今年度は、3月に家族会を開催する予定となっていた。ホーム便りの発行をお休みしていたが、今後再開する予定となっていた。	サービスを利用する側であるご家族のご意見を引き出し、事業所のサービスの質向上につなげていくためにも、事業所側からの報告の工夫や、ご家族への働きかけや質問等の工夫を重ねていかれてほしい。たとえば、事業所の食事支援について具体的にご意見をうかがったり、ご家族の不安や心配ごと等をゆっくり聞き取るような機会も作ってはどうか。さらに、ご家族同士の交流やご家族と他利用者が交流する機会も作っていかれてはどうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価)</p> <p>月1回の定期的なミーティングを設け、情報の共有、意見や提案を聞く機会を設けている。今後の課題として皆の前で意見できない職員の意見を吸い上げる事ができるよう、個々での面談やアンケート形式で意見を述べられるような工夫をしていきたい。</p> <p>(外部評価)</p> <p>管理者は、職員の意見を聞きながら取り組みをすすめておられる。「買物等に出かけたい」と言われる利用者の声を受けて、職員は「午前と午後に分けて食材の買い出しに行けば、利用者が外に出る機会が増えるのではないかと提案され、実践されている。</p>	職員の入替わりがあったが、現在は落ちついているようである。新人職員も多く、認知症の理解や利用者が服用する薬についての知識、介護技術やケアプランの作成等、管理者は職員の勉強する機会を作っていきたいと考えておられる。又、管理者は「働きやすい職場作り」に向けて職員個々が責任を持ち、やりがいや楽しみを感じることができるよう模索中であった。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>運営者も頻繁にホームに来ており、職員に声を掛けてくださったり、ご利用者と共に過ごすことにより現場の状況の把握をしている。また、研修にも積極的に参加を勧めている。 健康診断も定期的に（夜勤者年2回、それ以外年1回）行っている。</p>	
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価)</p> <p>外部研修案内を職員が誰でも見れるようファイルし、希望者を優先的にシフト調整している。また、管理者が個々の職員能力に応じた研修を薦め参加している。関連施設で開催される研修にも参加させて頂き学ぶ機会を増やしている。</p>	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<p>(自己評価)</p> <p>同地区のグループホーム3ヶ所で相互に運営推進会議、夏祭り等行き来し、交流を深めている。また、グループホーム連絡協議会や、社協が開催する研修会に積極的に参加し、同業者と交流する機会を設けサービスの質の向上を図っている。</p>	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p> <p>事前面談で、これまでの生活歴、環境、不安、要望などをご本人、ご家族様から親身に聞き取り、ホームでの対応方法を事前に話し合い検討し、柔軟に対応できるよう努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 事前面談時に、ご本人とは別に話を伺う機会を設け、ご家族様の思いをくみ取れるよう努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 事前面談時によく話し合い、要望や不安等をよく聞き意向を確認している。必要とあらば、他のサービスを検討し、共に考えていけるようにしたい。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 人生の大先輩であるご利用者に、料理や畑仕事、季節の行事やしきたりなど、教わったり、手伝って頂いたりしながら生活を共にしている。また、個々の得意な事を把握し活躍できる場面を多くできるように支援している。	
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族様面会時には近況報告したり、居室で一緒にゆっくりと過ごしていただけるようにしている。また、夏祭りやクリスマス会等の行事の際に声を掛け参加して頂く事により、ホームでの生き活きとしたご利用者の表情を見て喜ばれるご家族様もいる。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 積極的なアプローチは行えていないが、ご本人、ご家族の希望があれば支援していきたい。 (外部評価) ご家族と温泉やドライブ等に出かける方もある。友人宛に書いた手紙を職員がポストに出しに行かれることもある。ご家族の写真を居室に飾り、ご家族の来訪時や職員と思い出話をされる方もいる。	さらに、現在、利用者は希望等を話してくださる方も多いようである。事業所では、看とり支援の経験を踏まえて、ご本人の思いや希望を支援に採り入れていきたいと考えておられる。ご本人、ご家族とも相談しながら、利用者一人ひとりの暮らしが豊かになるような取り組みも続けていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 職員はご利用者同士の相性、関係を把握し注意深く見守っている。 食堂での席、外出時の配車等も配慮している。 時として起こるご利用者同士のトラブルもお互いの気持ちを十分配慮し間に入っている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 他施設や入院された方には面会に行ったりしている。 ご家族様には、いつでも相談に応じる事ができる事を伝えている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご本人、ご家族の思い、希望を伺うなどし情報を集め把握に努めている。 確認困難なご利用者は、日頃の言動、表情、生活歴などから思いをくみ取るよう努め、検討している。 (外部評価) センター方式のアセスメントから数項目を抜粋して、利用者の意向を留めておられる。又、入居時、ご家族にセンター方式の書式に記入していただくこともある。職員は、夜間時や食事時等は特にゆっくり利用者のお話を聞ける時のようである。	利用者個々が発したことば等の背景にあるご本人の思いや意向の把握に努めていかれてほしい。今後、公文学習療法も再開する予定になっており、取り組みを通じて利用者のことをさらに知りたいと考えておられる。利用者個々のその人らしい暮らしを支えるために、必要なアセスメントを充実していかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居前にご本人、ご家族に聞き取りを行ったりまた、ご家族にセンター方式の用紙をお渡しし、記入していただく事により生活歴等の把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりの生活リズムを理解すると共に、日々の支援の中での変化、気づき等職員間で共有し、支援内容の検討をその都度行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人、ご家族の意向、要望を伺い職員全員でカンファレンスを行いケアプランを作成している。毎月各担当者が他の職員の意見なども聞きモニタリング行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者の希望等を聞き取り「釣りがしたい」「キャッチボールがしたい」「外出したい」等の希望を把握しておられた。又、ご家族には、介護計画を送付する際にご意見を書いてもらえるよう用紙を同封して、お返事をいただくようにされている。</p>	<p>さらに、ご家族から具体的なご意見や要望、協力がいただけるような働きかけ等も期待される。今後、職員個々が介護計画にかかわれるように、勉強をすすめていきたいと考えておられた。ご本人やご家族とも話し合いながら、暮らしが豊かになるような計画作りや、ご本人の生活が良くなるような計画の作成に向けて取り組みをすすめていかれてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご利用者の変化等、個別の経過記録に記入し情報の共有をしている。また、ケアプランに関する記録は色を変えたり、特に注目してほしい記録にはマーカーを記している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人、ご家族の意向を配慮し、できる限りの支援を柔軟に行うよう努めている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議に地域の方に参加していただく事により、地域で行われる行事の日時、公民館活動などの情報を得る事ができ、参加させていただいている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価) 人居時ご本人、ご家族と相談しかかりつけ医を決めて いる。 提携病院は週1回の医師の往診と、看護師の訪問で日 常の健康管理、異常の早期発見に努めている。</p> <p>(外部評価) 系列病院の医師の往診があり、いざという時には、い つでも診てもらえるようになっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価) 提携病院の看護師が週1回訪問していただき、日頃の 健康管理、医療面での相談、助言、対応を行って もらっている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 入院時にはご本人の情報を提供している。また職員が 頻繁に面会に行く事により病院での状況を把握し速や かな退院支援に結びつけている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説 明しながら方針を共有し、地域の関係者と 共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ご利用者、ご家族が安心してサービスを受ける事が できるよう医師、看護師を交えて話し合いを行って いる。 またご本人の状態の変化に伴い変化していくであろう ご家族の思いに添えるよう支援していきたい。</p> <p>(外部評価) 人居時には、最期まで事業所で支援できることをご本 人やご家族に伝えておられる。利用者がいざという時 には対応できるよう、年一回、救急救命講習を受講さ れている。看とりの経験をもとに、夜間の見回り時、 ご本人の状態を詳しく見る必要があるということを感じ られ、実践されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			年1回消防署員による応急手当訓練を実施している。勤務の都合で参加できない職員もいる為年2回は開催したい。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			年2回ご利用者と共に火災避難訓練を行っている。また、訓練時緊急連絡網に添って連絡行い、近隣の方にも駆けつけていただいている。	
			(外部評価)	
			スプリンクラーを設置されている。消防署の協力を得て、計画を立てて、非常階段等を利用した避難訓練を実施された。散歩に行かれる近くの公園が地域の避難場所となっている。地域の他グループホームと連携して、いざという時には受け入れてくれるようになっていく。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			まだまだご利用者への配慮に欠ける声掛け等が気になる為、職員同士で注意しあったり、尊厳について話し合い確認していく機会を増やしていきたい。	
			(外部評価)	
			職員は、ご本人の気持ちを大切にして、何事も無理強いしないことを心がけておられる。又、笑顔に心がけて共感することに努めておられ、時に、職員は利用者へ家庭や子育ての相談をしてアドバイスをもらうこともあり、ともに生活する姿勢で取り組まれている。おむつ等の介護用品は押し入れ等に収納されていた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			日常の会話の中で、ご本人の嗜好や希望等の情報を集め支援につなげている。また、ご利用者が決めやすい(答えやすい)問いかけを心掛けている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々のペース、リズム等考慮し、その日の状況、気分で変化する気持ちを尊重し支援を行っている。また、その人らしい暮らしとは何かを職員間で考察している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 外出時にはご本人に似合う服を選んでさしあげたり、ご本人に選んでいただいたりしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ご利用者の得意な作業を把握し、お手伝いしていただいている。フロアと台所がつながっている為、調理時の匂いなど会話の話題として生活の中にも溶け込んでいる。また食事中は職員も一緒に食べ、食材についてなどの会話も楽しんでいる。	
			(外部評価) 食材の買い出しに利用者で行かれて、スーパーで利用者と相談しながらメニューを決めることも多い。いりこや昆布等の天然だしで料理をされている。義歯の調整に努めておられるが、外した方が食欲が出るような方もあるようだ。利用者個々で調理や洗い物等、分担を決めて行っているユニットもあった。食器を下げる方は、皆が食べ終わるのを待って、種類ごとに重ねてお盆に乗せ下げておられた。その際、お茶がたくさん残っている方に「もう少し飲んどく？」と声をかけられ、その方は「ありがとう」と、飲まれている様子がうかがえた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量、水分摂取量を記録し把握行っている。また自力摂取しやすいようにおにぎりにしたり、おじやにしたりしその日の状態に合わせて提供し召し上がっていただいている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後ご利用者に合わせて歯磨き支援行っている。また、自歯の方は毎月近所の歯科受診し、口腔内クリーニングしていただいている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄チェック表にて排泄パターンを把握し、時間誘導を行っている。日中は紙パンツは使用せず、全員布パンツで過ごしていただいている。	
			(外部評価) トイレで排泄できるように誘導をされている。ゆっくりトイレに座る方もあり、職員はひざかけをかけたリ、背もたれが痛くないようにカバーをする等、配慮されている。トイレに行く利用者の方が、隣の方に小声で「トイレに行ってきます」と小声で言ってから席を立たれる様子が見られた。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 排泄チェック表と水分チェック表を1枚の用紙にし、水分補給の徹底を意識している。また、ご家族に依頼しヤクルト、ヨーグルト等を面会時にもって来ていただいたりしている。食事面でも朝食にヨーグルト、フルーツを取り入れたり、食物繊維の多い食材等意識している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴拒まれる方は無理強いせず翌日に変更したり、ちがう職員が声掛け行ったりチームプレイで行っている。特に希望される方がいない為、夜間入浴は行っていない。	
			(外部評価) お風呂がお好きな方が多く、ご家族と温泉に出かける方もある。2階は、一般の家庭用浴槽で一番に入る方が入浴剤を選んでおられる。肌の弱い方には、皆と別に敏感肌用全身シャンプーを使用しておられた。1階は、浴室が広く、車椅子で入浴ができる特殊な浴槽が設置されている。管理者は、家庭的な環境作りという点から工夫をしたいと話しておられた。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) ご利用者個々のペースで日中居室やフロアソファ等で休息をとっていただいている。また、個々に合わせて居室の照明、室温、寝具を調整し安眠につなげている。不眠になりやすい方は日中の活動性が上がるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方や用量が変更されたら、日誌、連絡ノートに記載し全員把握している。下剤などは状態を診て、Drと相談しその都度細やかに調整している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 個々の得意な事、好きな事を見極め、活躍できる場面を作り、役割がある事で張り合いを感じていただけるよう支援している。また、季節を肌で感じて頂けるよう、季節の行事、外出支援をし気分転換を図っている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩や買い物、外食などご本人の体調や気分に合わせて日常的に支援している。 今後、希望があればふるさと訪問、お墓参りなど支援していければと思っている。	
			(外部評価) 外出がお好きな方も多くあり、お化粧品をして出かける方もある。又、寒い時期にも、暖かくして出かけるようにされている。お好きな歌手のコンサートやディナーショーにも職員が同行して楽しまれた。又、日常的にも食材の買い出しや散歩、畑や庭の手入れ等にも出ておられる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お財布はホームで管理させていただいているが、今後希望や能力に応じ柔軟に対応していきたい。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望時には支援しているが、頻度は少ない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>フロアの窓からは田んぼが見え、田植えや稲刈りなど季節を感じることができる。また、調理の音や匂いを感じることで生活感も感じることができ、調理しながら会話をするなど交流しやすい環境にある。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間の窓から道路を行きかう車や人、畑等が見え、日々の変化がおしゃべりするきっかけになっている。廊下を分けて台所と居間にテーブルがあり、利用者の食事する速さや関係性等も踏まえて、座る位置を決めておられた。ソファに座って週刊誌を読まれている方や、テーブルでオセロに夢中になっておられる方も見られた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>相性等考慮し、テーブルの位置、席を決めている。ソファだったり、裏庭のベンチで気の合うご利用者同士で歌を唄ったりおしゃべりされたりしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居心地良くすごして頂くために、寝具やタンス、椅子など使い慣れたものの持込をお願いしている。入居後もご本人の希望や状態に添ったものを揃え、居心地良く過ごして頂けるよう支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>畳を敷いておられる方やご家族が来られた際に座って過ごされるソファを置いておられる方もあった。お部屋の出窓にはお花の植木鉢を置いておられたり、ポットやコーヒーセットがあり、居室でコーヒーを飲まれる方もある。ご家族の写真やご本人の花嫁姿の写真飾っておられたり、好きな歌手のポスターを貼って、CDを聴かれる方もある。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>廊下、階段には手すりが設置し車椅子が離合できる幅もあり、安全に配慮している。また、状況に合わせて環境整備に努めている。テーブルの配置など変更した場合は、混乱を招かないよう気を配っている。</p>	